

町のうごき	
本籍数	5,634
本籍人口	17,084
世帯数	4,656
	(4,649)
住民登録人口	17,342
	(17,297)
内	{
男	8,476
女	8,866
2月1日現在	
()内は1月1日現在	

広報 てんの町

No. 207

昭和55年

3月1日発行

発行・秋田県天王町役場 電(018878)2211~4
編集・企画室 印刷・秋田協同印刷 電(0188)237477~8

第33回家庭バレーボール大会

盛会裡に終える!

実力が平均化した各チーム



各部の覇者入れかわる

二月十七日、町恒例の第三十三回天王町家庭バレーボール大会が開かれた。

今大会は、六十二チームが参加、前大会の覇者が入れ替るなど近年にない激戦の大会となった。

青年の部では、予選から熱戦が繰りひろげられ、試合が消化された。

決勝トーナメントでは、準決勝まで強豪チームが順調に進出、前回の覇者羽立北野Aチームは波にのる塩口北野チームに敗れた。

決勝戦は、羽立チームと塩口北野チームが対戦、試合は勢いのある羽立チームがスパイクとレシーブのうまさをもせて塩口北野チームを圧倒、優勝に輝いた。

若妻の部では、蒲沼松チームと追分チームが決勝に進出、一進一退の攻防が続いたが蒲沼チームのねばりに惜しくも敗れた。

壮年の部では、前回優勝の追分チームがふるわず三位に、そしてパスワークとレシーブのうまさを発揮した天王Aチームが着実に駒を進め、優勝。

主婦の部では、二田栄町チームと大崎チームが決勝で対戦。この対戦は、前回の決勝進出チームで、前回は大崎チームが優勝しているだけに、熱戦が期待された。

試合は、終始冷静な試合運びで主導権をにぎった二田栄町チームが着実に得点を重ね、大崎チームを敗り、前大会の雪辱をはたした。成績は次のとおり

- ▽青年の部
 - ・優勝 羽立チーム
 - ・準優勝 塩口北野チーム
 - ・第三位 追分チーム
 - ・" 羽立北野Aチーム
- ▽若妻の部
 - ・優勝 蒲沼松チーム
 - ・準優勝 追分チーム
 - ・第三位 羽立チーム
 - ・" 天王松チーム
- ▽壮年の部
 - ・優勝 天王Aチーム
 - ・準優勝 大崎チーム
 - ・第三位 二田新町チーム
 - ・" 追分チーム
- ▽主婦の部
 - ・優勝 二田栄町チーム
 - ・準優勝 大崎チーム
 - ・第三位 二田二区チーム
 - ・" 天王竹チーム

▲強烈なスパイクとブロックの応酬で観衆を魅了。(若妻の部、決勝-蒲沼対追分戦)

追分小完成

待ちに待った
ぼくたちの学校だ

◀ 2月14日に竣工式 ▶

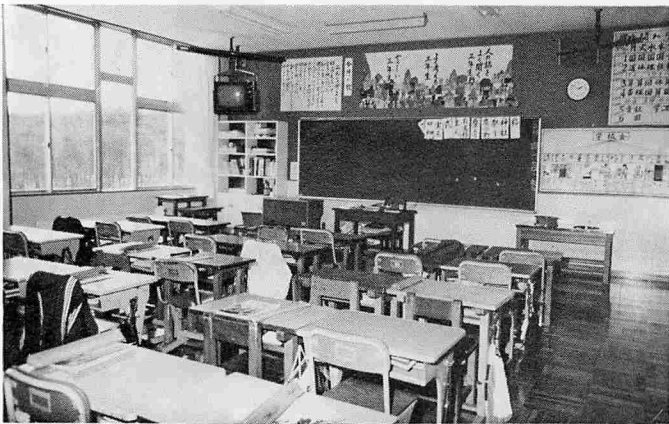


追分小学校が完成した。同校の改築は、昭和五十四年五月に着手、事業費三億四千四百万円、建築面積二千八百九十九平方メートル、鉄筋コンクリート三階建のモダンな校舎が誕生しました。

同校は、追分地区の高台に位置し、眺望もすばらしく、環境に恵まれた美しい教育の殿堂です。三階建の校舎は、普通教室、特別教室からなり、平屋建の管理棟には、職員室や会議室、音楽室などとなっています。

児童たちは、今まで平屋の校舎で学んできただけに、三階建の校舎は珍しさも手伝って、二階、三階と走り回り、先生たちもお手あげ。

児童たちは、恵まれた環境で勉強に、スポーツに大きく飛躍することでしょう。

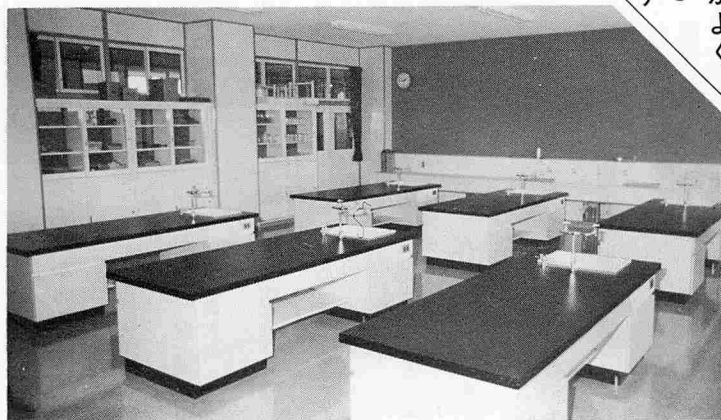


環境の整った
普通教室



広く
直線が美しい
廊下

新しい
学校で
なかよく
勉強しま
しょう



科学の心を
育てる理科室



設備の
整った
給食室

「1年間で1,800人におよぶ尊い人命と1,300億円の財貨が炎の中で失われた。」

昨年秋に発表された消防白書は、こう伝えてます。

ところで、2、3月は空気がカラカラに乾燥して風も強いわば火災シーズンの「本番」ともいえる危険な季節です。

2月29日から2週間「春の全国火災予防運動」が行われますが、お宅の火の元は大丈夫でしょうか。

〈消防白書〉は訴える

1,300億円が灰に

2月29日～3月13日

春の全国火災予防運動

火災

日本列島のどこかで
7分28秒に一件の割合で発生

消防設備の近代化や消防職員の増員などによって、火災一件当たりの損害額は以前に比べて減ってきています。
ところが、半面、出火件数は横ばいもしくは増加の傾向をたどっています。五十三年は前年に比べて一〇〇増の七万四千二百三十三件(全国)にもほり、昭和四十八年の七万三千七十二件に次ぐ戦後二番目の不名誉な記録となりました。

一年間に七万四千二百三十三件といいますが——日本のどこかで七分二十八秒ごとに火災が起きている勘定になります。そして毎日二十八・九人が火事で死傷し、三億五千八百万円の財産がむなしく灰になっているのです

年に比べて六百十件増の約四万九千二百八十二件。次いで林野火災の七千二百八十二件。前年に比べて約二千件(三八%)も多くなっているのが目立ちます。
これは、春から異常乾燥が続いたことなどが影響し、たき火の不始末やたばこの投げ捨てが原因になっていることはいまでもありません。



春の全国火災予防運動2月29日～3月13日

出火原因

18年間たばこがトップ
「たき火の不始末」も急増

一年間に一千三百億円を灰にした最大の元凶は何だったのでしょうか。

失火——出火原因の七六%までが、わたしたち自身のちよつとした不注意、つまり火の不始末によるものです。その出火原因のナンバーワンは、今年もやはりたばこで、九千九百二十件全火災の一四・一%。これで昭和三十五年以来、十八年間連続して、たばこは出火原因のトップの座にあります。愛煙家のみなさんにとっては、他人事ではありませんね。

たばこに次いで二番目に多いのは、「たき火」の九千八百七

十七件(一四・〇%)、三番目が「子供の火遊び」六千三百三十五件(九・〇%)となっています。

この出火原因の順位は、例年と変わりませんが、五十三年の特徴としてあげられるのは「たき火」の不始末による火災が急増したことで、前年の年比べて三千二十七件も増えています。また、新聞などで騒がれている「放火」は、疑いも含めて五千三百六十九件もありました。全火災の七・六%です。放火、魔ッとする話です。同時に、全く関係のない他人の家に火をつけ



て不幸のどん底に陥れるというこれほど憎むべき犯罪はほかにないといつてよいでしょう。

水田利用再編対策への

ご理解とご協力を

秋田県知事 佐々木 喜久治



県民のみなさま、日頃県政の推進にあたっては、格別のご協力を賜わり、厚くお礼申しあげます。

さて、水田利用再編対策については、一昨年来、農家をはじめ関係のみなさまのご協力を得ながら、目標を上回る実績を挙げてまいりましたが、米の過剰はますます厳しくなっていることから、国においては止むを得ない緊急の特別の措置として、昭和五十五年度の米の需給計画を改訂し、転作等目標面積を増大しました。

本県としては、国が定めた一期三年間固定という原則のもとに農家のみなさまのご理解とご協力を得ながら、これに取り組んでまいりました。したがってこの原則を変更することは、農家のみなさまのこうした信頼関係を損うことになると考え、市町村、農業団体ともども三年間固定の原則を貫くよう国に強

く要望してきました。しかしこれが受け入れられなかったことは誠に残念でなりません。これまで協力していただいた農家はじめ関係のみなさまに対し、本当に申し訳なく存じております。

この問題にどう対処するかについては、市町村、農業団体等の意見を十分うけたまわる一方、市長会、町村会、農業団体等の代表で構成している、秋田県水田利用再編対策推進本部委員会にもはかり、あらゆる角度から慎重に検討を重ねました。その結果、米作農業の基本である食糧制度を守るため、米産県なるが故にこれに対応せざるを得ないとの判断に立ったのであります。

今後は国に対して食糧需給の長期見通しと、これをふまえた農業の基本政策の早期確立を要望するとともに、県としても排水改良、転作作物の技術指導や価格流通対策等転作条件を整備するための施策についてはさらに一層努力してまいりたいと存じております。

どうか農家をはじめ関係のみなさまにはこの間の事情をご理解いただき、水田利用再編対策にご協力賜わるようお願いいたします。

昭和54年分

所得税の申告と納税はお済みですか



確定申告

確定申告の期限は3月15日です

所得税の確定申告の期限は3月15日ですが、あなたはもうお済みですか。期限間近になると税務署は大変混雑しますので、早目に申告をすませましょう。

税金に関してよく分からない点があったり、もっと詳しく知りたいときはお気軽に税務署にご相談ください。また、「申告書の書きかた」や「確定申告の手引き」などが税務署に用意してありますので、参考してください。



話もはずんでみんなで「ハイポーズ」

手拍子も入って自慢のノドで民謡を披露

楽しさいっぱい

話題がいっぱい

ふるさと天王会

「ヤアーひさしぶりだすな、元気ですか。」……東京での秋田弁。ふるさと天王会が二月十日、東京新宿日本青年館で行われた。今回は、本町から藤原町長、天野天中、中学校長、戸田経済課長、丸谷主任の四名が参加、同会を盛りあげた。三浦貴和会長が「一年ぶ

りの再会を喜び、ふるさととのつながりをより強めていこう」とあいさつ。続いて藤原町長が町の状況を報告した。同会は、本町出身者で構成され、年一回の集いには会員多数が出席、ふるさとをなつかしみ会員相互の親睦を深めているものです。昨年は、同会より母校天王中学校改築にあたり、校庭に「飛躍の像」を寄贈。今年、一人一人が本を持ちより、ふるさとに本を贈ろうと計画、会場では、思い出話に花が咲き、笑い声が飛びかき、楽しいシーンがあらちちらで見られた。酔が回ると、民謡合戦。自慢のノドを披露し、笑いの中で楽しいひとときを過ごした。最後に、吉田正志さんの指導のもとに、キャンドルサービスが行われた。一人一人がロソクの灯を見つめながら、ふるさとをしのび「雪の降る町を」「ふるさと」を合唱、来年の再会を誓い、閉会した。

こいつは春から

縁起がいいわい

大崎の吉田銀忠さんにお年玉!



カメラを手に喜びの吉田ご夫妻とか。

お年玉年賀はがきが一等に。この「幸運」を射とめた人は、大崎の吉田銀忠さん。本町では、三十年ぶり二人目のこと。この年賀状は、町内の知人から差し出されたもので、賞品はコンパクトカメラ。吉田さんは「まさか一等が当たるとは……。」とまだに信じられない様子で、新年そうそう縁起が良いと喜んでいました。なお、近所で一番違いの人がいて「残念」と悔しがっている。

郷土史コーナー【89】

ケラ

本格的な降雪が毎日続いている。かつて防寒具や雨具に使われたケラが多く見かけられたのが今の季節。ケラという呼びかたは、東北地方の北半分では呼ばれているもので、一般的にはミノと呼ばれる。材料には、ワラ、スゲ、マンダ(しなの木)の皮、蒲などが使われる。ほとんどが冬の間の手仕事で作られていたが、販売品が出回ると、ワラスゲを材料にしたものが多くなってきた。手製のものの中には、えりに意匠をこらして美しい模様をつけているものがある。



男鹿、南秋で

は、海岸近くということもあってウミシゲ(海藻)の黒い房飾りがついているものが見かけられる。全国的に有名な、男鹿のナマハゲが夜の訪問にケラをつけてくるのは、信仰を背景とした古くからの約束らしく、遠い国から旅をしてくる神の服装だろうといわれている。同じ防寒具としての、カラフルなスキューウェアからは、それは全く感じとることができない。(菊地 記)



不用犬を回収

次により不用犬を回収します。

▽とき 三月五日(水)

午前十時

▽ところ 役場前



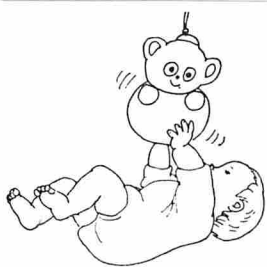
ちょっと

“ひとこと”

シリーズ
(3) 丈夫な赤ちゃんを
生むために

今回は妊娠の初期についてお話ししてみましょう。

「普段から自分の生理の周期をメモしていますか。」
「基礎体温を測って自分の排卵日を知っていますか。」
と聞くと、ほとんど「いいえ。」という答が返ってきます。それでは「妊娠に気づいたのはどんな時ですか。」



とたずねると「生理が遅れた。」とか、「つわりになった。」という人がほとんどです。みなさんもお存知のように子供の障害のほとんどは妊娠の初期に造られると言われていいます。人間の全器官が造られるのは妊娠13週までで、現れるのはもうすでに妊娠2カ月中頃になっていますから、だいぶ形づくられていることとなります。妊娠に気づくのが遅いと、風邪をひくと安易に薬を飲んでしまったり、胃の調子が悪いと透視をしたり、車での遠出など過激な運動をする、喫煙する等、また結婚してまもない場合は特に自分達の生活をもっと楽しみたいとか、新しい生活に慣れず、苦労している時でもあるので案外おろそかにされてしまいます。従ってまず受胎調節しなかつたら、排卵日(生理と生理の間にある)がすぎたら妊娠を念頭にいれ、絶対必要でない限りは薬を飲まないようにしましょう。

風邪などの感染症にかからないよう注意する。むやみにレントゲン写真を撮らない。糖尿病、心臓が悪いなど既往症のある人は医師によく相談しておく。…等注意してください。

お知らせ	
▽1歳半健康審査	○対象 S54.12月生まれ
○とき 3月14日(金)	○受付 午後1時30分~2時
○ところ 天王町公民館	
○対象 S53.8月生まれ	▽離乳食教室
○受付 午後1時~1時30分	○とき 3月21日(金)
▽乳児健康審査	○対象 S54.6月生まれ
(3ヶ月, 5ヶ月)	○受付 午後0時30分より保健所栄養士指導のもとに行います。
○とき 3月21日(金)	
○ところ 天王町公民館	
○対象 S54.10月生まれ	
○受付 午後1時~1時30分	



▲「よいしょ、よいしょ」とかけ声も勇ましく体当たり、応援にも力が入ります。(片足相撲)

連青と、子ども会レクの集い

騎馬戦などで 楽しいひととき

町連合青年会と、東湖子ども会とのレクリエーションの集いが東湖小グラウンドで行われた。この試みは、連青が会活動の一環として実施したもので、連青会員三十名、子ども会児童約二百名が参加、楽しいレクの集いが行われた。

最初は宝さがし。ノートや鉛筆と交換する引き替え券を探しあてるもので、見つけることに歓声が飛んでいた。

続いて低学年児童の片足相撲各班ごとに対戦、チャンピオンには小三年の菊地由美子さんがなり、男性軍はシモンとしていた。

騎馬戦は、高学年児童が対象寒さを吹き飛ばす勢いで激突、応援している父兄たちもハラハラして見ていたがケガもなく健康な汗をかいた。

連青会員との綱引きでは、かけ声も勇ましく、力くらべ。軍ばいは子どもたちが上り、ひときわ歓声も高く喜びを表現、楽しいひとときを過ごした。

同連合会では「今後も町内の子どもたちと接し、楽しい催しを計画したい。」と語っていた。

し尿浄化槽検査のお知らせ

し尿浄化槽(五百人槽以下)を設置している一般家庭、または事業所の設置者に対して維持管理の強化をはかるため、廃棄物の処理、及び清掃に関する法律の一部改正により、昭和五十五年一月一日から年一回、定期的に厚生大臣の指定する機関の検査を受けなければならないことになりました。

検査の内容は、外観及び設置の状況、モーター等の機能の状況、水質検査の実施、及び維持管理の記録の状況等です。

秋田保健所、または役場保健衛生課に、検査依頼申込書がありますので、印鑑持参のうえ、申し込んでください。

なお、詳細については秋田保健所(☎〇一八八-一三三-一八五二二)にお問いあわせください。

▽指定検査機関

財団法人秋田県予防衛生協会
(☎〇一八八-一六四-〇三四一)

▽検査料金 五、〇〇〇円

原子爆弾被爆者の子に対する無料健康診断の実施について

財団法人日本公衆衛生協会が原子爆弾被爆者の子に対して、無料健康診断を実施します。希望される方は、実施機関の窓口で希望の旨を言って下さい。

▽実施機関
・秋田赤十字病院(秋田市中通)
・中通病院(秋田市南通)

▽実施期間
昭和五十五年三月二十日まで

▽対象者
両親のどちらかが原子爆弾被爆者である者で、六歳以上の者(ただし、被爆者である者を除く)

天王町短歌会(一月)

羽立 安田ツル
猛りつつ家々めぐるナマハゲの
吹ゆるを真似る幼き孫は

追分 藤原 邦
老松の姿態やさしく逞しく吾も
同ごく年重ねたし

二田 渡部ツナ
若き日の労働せしを語らいて病
室の老い等ついに泣きたり

追分 藤田 光
海鳴りを遠くに聞きて筆おけり
歌会の色紙認め終えて

塩口 桜庭慧子
母の針そつと使えはすべりよく
使いなれたるやさしさしみるる

二田 渋谷ケン
石油の輸入きびしうこの年の
七草粥に外国の菜も

追分 佐藤生子
閑かなる雪の朝に居向いて七草
かゆを二人しいただく

俳句

天王 米谷冬華
揺れ動く石のぬくみや冬至晴

二田 渡部ツナ
病院の窓打つ吹雪に射る

天王 児玉伯秋
鯨祭る社めぐりて杉千本

二田 三浦絹子
待ちわびし文の届きぬ細雪

天王 京谷郷愁
厄祓い一升研に浄め塩

渋谷 戸田栄春
豪雪に花の便りや国広し

追分 鶴谷トシ
水柱落つひと湯沸かす遅昼餉

二田 村井広子
いましむる師の言葉あり大寒波

天王 京谷蒼潮
屋台そば肩ふれて喰う寒の月

